

駒込 割烹都鳥 ウナギは旨い 賞味後 足取り軽く 谷根千へ

企画委員会

「肝吸い付きうな重」を、今年もまたまた賞味しました。恒例の毎年1回の贅沢な味わいは変わらずでした。お店のオヤジさんの鹿児島島のウナギを選ぶ目利き、焼き上げの腕前、そしてタレのうま味に舌が躍りました。誰が何といてもうまいです、脂が適度にのった肉厚のウナギ、すべて満足です。満足気な様子を写真に記録しました。

うな重でエネルギーを充填して谷中銀座から根津神社に足を伸ばしました。この付近は、インバウンドの観光客に大人気で、国際色が豊かな場所です。WSC 会員にとって、谷中銀座の昭和チックなお店は懐かしい店構えで郷愁をおぼえました。根津神社に参拝し健康長寿と家内安全、金運来福を祈願しました。身体も心も充実した一日でした。

期 間：2026年6月16日（火）

費 用：3,600円（うな重、肝吸い付）

集 合：午前11時50分 JR駒込駅北口改札口

食事処：割烹「都鳥」東京都北区田端3丁目7-6

散 策：谷根千地域

解 散：根津神社

リーダー：Y会員

参加者：18名

順 路 JR駒込駅北口改札→ウナギ都鳥→

うな重 賞味→徒歩→本駒込5丁目都バス乗車→

千駄木3丁目→よみせ通り→谷中銀座入口→

→へび道（旧藍染川）→根津教会→

根津神社入口→根津神社参拝→解散



お店の前 恒例の記念写真



うな重+肝吸い 最高の贅沢

都鳥うな重、肝吸い

このお店「都鳥」では、鹿児島産のウナギを焼いています。鹿児島島のシラス台地からの冷涼な地下水が、ウナギの味の決め手だそうです。身は厚く上品な脂ののり、もちろん臭みは一切なく超一級です。

こんな旨い料理が毎年賞味できるのは、リーダーがこのお店のオヤジと親しいお陰です。感謝！感謝！です。店の卓は18名で満席の借り切りで、WSC会員のみの贅沢なウナギ賞味は盛会でした。当日の写真に参加者の満足感が出ています。

写真では、肝吸いの肝が大きいのが目立ちます。肝が大きければ、ウナギは大きい。今回もウナギの下のご飯はちらりと見える程度で、上のウナギは大ぶりでした。



このオヤジ ウナギの焼きは超一流

谷根千へ

谷中、根津、千駄木の地域は、通称谷根千といいます。この地域は、最近特に賑わいを見せています。インバウンドの観光客にも大人気で、訪れた当日も、ご多分に漏れずまちの混雑でした。



谷中の通りの風情

ウナギ後に散策しました。インバウンドの観光客に大人気の谷根千へ、足取り軽く移動です。谷根千最寄り駅千駄木まで、バス移動です。ウナギパワーのおかげで、軽く到着でした。

千駄木3丁目のバス停を降り、よみせ通りを歩き、谷中銀座の入口を通過しました。予想通り谷中銀座はインバウンドの観光客で混雑、今回は見送りました。



赤太線がよみせ通り 3 駅から至近



昭和チックな入口看板



よみせ通りの看板 これも懐かしい



よみせ通りの魚屋 対面販売が懐かしい

よみせ通りに続くのがへび道、くねくね蛇行しています。旧は藍染川が流れていた流路で、現在は暗渠になっています。川筋に染物屋があり川のいろも藍色だったそうです。ちなみに、明治になってから町名を根津藍染町としたそうです。

現在では染物屋さんは多くなさそうで、今回一軒だけ発見しました。



藍染大通りのおしゃれな染物屋

あじさいが美しい

谷根千の横丁の細路をのぞくと、いろいろな草花がプランターに覇を競っていました。中でも、アジサイは大ぶりで色鮮やかに咲き誇っていました。キレイですね。



クラシックな外壁にあじさいが似合う

根津の教会

木造のこの教会、登録有形文化財です。キリストさまにあやかって、門前で記念写真を撮りました。



門柱の根津教会の文字が魅力的

根津神社

ここは、日本の神さまです。本殿、拝殿、唐門、楼門、鳥居と豪華にならび、庭に池泉があり、季節に境内左手のつつじ苑が華やか、これが根津神社です。日本武尊が創建で歴史は長く、敷地面積7千坪で境内はあくまでも広いです。



豪華な石柱と鳥居の前で、またもや記念写真です。ここ迄6千歩で少々お疲れ風ですが、シャキッと勢ぞろい。



ここも文字が立派、記念写真も映える

根津神社は何もかも大きくて立派です。江戸五代将軍綱吉が、権現造の社殿を造営したそうです。根津神社は、東京十社（根津神社、神田神社、亀戸天神社、白山神社、王子神社、芝大神宮、日枝神社、品川神社、富岡八幡宮、氷川神社）の筆頭です。ちなみに、WSC企画では、この十社をほぼ巡っています。

近くに居を構えていた森鴎外や夏目漱石は、ここの氏子だったそうです。



根津神社は立派 写真映えピカ一

楼門は、江戸時代から現存しています。重要文化財です。右側の隨身は、水戸黄門さまだそうです。



楼門も立派 重厚感ありです

乙女稲荷は、池を見下ろす舞台造りです。洞は穿たれた穴の中なので昔穴八幡、今乙女稲荷です。



乙女稲荷神社は舞台造 境内西側

乙女稲荷に通じる参道には、赤い鳥居がずらり。鳥居の一本一本には文字があり、鳥居奉納の願いが込められています。



千本鳥居 乙女稲荷神社に通じる

うれしい再会

M 会員ご夫妻と、根津神社山門で再会しました。M 理事は療養が順調に進んでいて、そう遠くない内に

ご活躍の場面が出現しそうです。ご夫妻からは、地元根津名物のたい焼きをご馳走になりました。



M 会員と根津神社山門脇で再会

M 会員メッセージ (東京都文京区)

根津神社にてメンバーの皆様と逢えて、大変嬉しくまた感慨深くあついものがこみ上げてきました。元気なメンバーの皆様と逢えて嬉しかったとともに、何とかリハビリを頑張り皆様と楽しく過ごすことを一義に過ごしたいと思います。本当に有難うございました。

夕焼けだんだん

夕焼けだんだんは、谷中銀座の突き当りにありますが、今回は谷中銀座が混雑で、足を運ぶのを見送りました。今回は「あきらめだんだん」でした。なお、WSC では 2016 年に訪れています。



夕焼けだんだん 2016 年 9 月訪問

お休み処

根津神社参拝の直前、休憩場所として根津地域活動センターのロビーでお世話になりました。1 階が休憩所としてしつらえてあり、自販機の飲物を求めまた自然の要求のトイレも借用しました。地域のマップも用意してありました。お世話になりました。

リーダーから

(東京都豊島区)

2018 年から始まった「駒込でうなぎ」の企画。今年も募集をしたら、アツという間に定員になってしまいう人気でした。参加された方たちから「美味しかった」との声をお聞きし世話役として安心しました。

谷根千は久しぶりでしたが、根津神社でガンと奮闘

中の M 理事と 6 年ぶりにお会いできて、とても嬉しかったです。順調に回復されているようなので安堵しました。来年のこの企画にご参加していただければ最高です。

参加しての感想

(東京都杉並区)

好天に恵まれた、まさにうなぎ日和？でした。一年に一度の「うなぎを食する会」に参加の 18 名、いつものように駒込駅に集まり「都鳥」を目指しました。店内へのドアを開けた途端、美味しそうな匂いが私達を出迎えてくれました。

席に座りうなぎを食べ始めてから、15 分位は静かだったように思います。懐かしい味に出会えた喜びを噛み締めつつ、黙々と完食をいたしました。

その後、バスと徒歩で谷中から根津神社までの散策。この日は暑かったのですが、うなぎのお陰で足取りも軽かったです。根津神社では、M さんにお目にかかりました。順調に回復していらっしゃる様子でとても嬉しかったです。今回も楽しい一日でした。

(神奈川県横浜市)

はや 9 年目になるそうですが今年も参加し、また新たな思い出になりました。ウナギのおいしさ・味については本文の通りで、それ以外について書きます。

「谷根千」の言葉も知らなかったのですが、特に印象深かったのが根津神社でした。大都会の真ん中に壮大な社と森があり、平日なのに多くの観光客が来ていました。ここの観覧台？の後ろには広大なつつじの植栽があり、その時期には見事な景観になるだろうと思えました。秋の紅葉時も素晴らしそうなので、是非また機会を作って来ようと思いました。

(千葉県浦安市)

毎年訪ねている駒込のウナギ屋さんで、今年もまたうなぎをいただきました。諸物価値上がりの現状でもうれしいお値段で、特段味も落ちてはいなくて今年も十分に満喫することができました。

食後は谷根千へ足を延ばし、のんびりと街歩きを楽しみました。昔ながらの家並みや路地が今も残り、歩いているだけで心が和みます。個性的な店先を覗きながら小道を進むと、どこか懐かしい空気が漂い都会の喧騒を忘れさせてくれます。情緒ある街並みは、私にとってほっとできる場所の一つです。東京の下町の魅力をあらためて味わった一日でした。